

# 高知大学 病院ニュース

〔編集〕  
 高知大学病院ニュース  
 編集委員会  
 委員長 森信 繁  
 〔発行人〕  
 高知大学医学部附属病院  
 病院長 横山 彰仁

## 『ハイブリッド手術室について』

施設管理室

現在、第二病棟東側で「ハイブリッド手術室」の増築工事を行っております。この工事は本院の再開発整備事業の一環として実施するもので、平成28年5月に契約を締結し、6月に着工しました。平成28年11月末日現在の工事の進捗率は61%であり、関係部署の皆様にご協力頂きながら工事が進捗しています。

今後の予定としては、12月に内装工事、年明け1月に手術用機器の搬入・据え付けの後、最終的な内外装の仕上げを行い平成29年3月末に工事が完成、平成29年4月から機器調整・稼働となる予定です。

今回の増築建物は、2階に手術室が2室、1階部分にカンファレンスや更衣室、手術室の空調やMRI関連の機器設置のための機械室があり、延べ床面積は494㎡です。

第二病棟建設時からハイブリッド手術室のスペースを整備しており、増築部分も第二病棟同様に免震基礎となっており、地震災害時にも強い構造となっています。



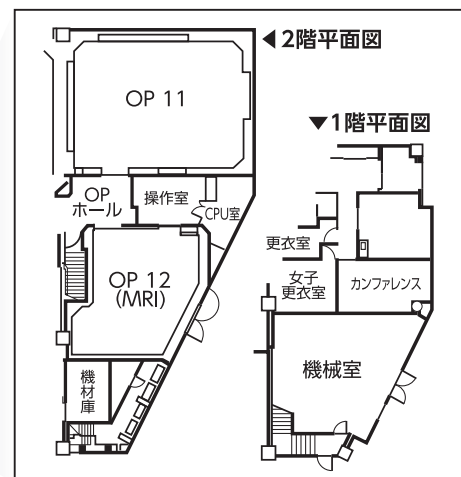
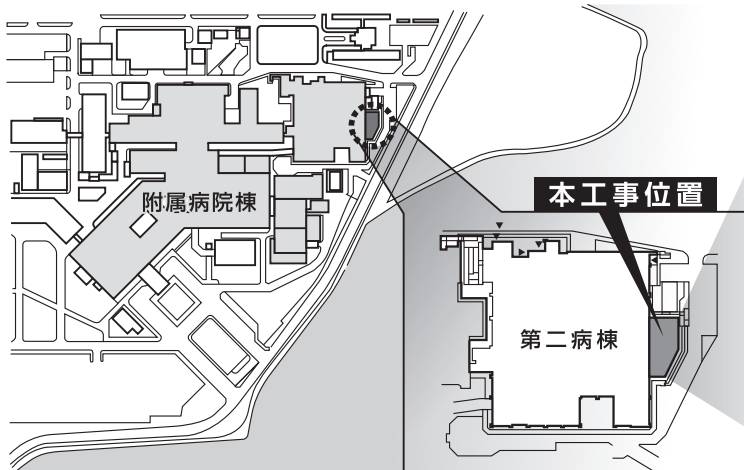
ハイブリッド手術室は、手術室内に「術中MRI診断システム」や「手術用血管撮影システム」を設置し、低侵襲で高度な治療を実現するものです。

術中MRI診断システムは、開頭手術中にMRIで検査し、リアルタイムでのナビゲーションにより腫瘍切除することが可能となり脳腫瘍・脳血管障害などの高度な脳神経外科手術をより安全かつ的確に実施することが期待できます。

手術用血管撮影システムは、体内のカテーテルや病変をレントゲンで詳細に把握し、血管内治療と外科手術を同時に実施することが可能となるもので、TAVI(経カテー

テル大動脈弁置換術)の実施により心臓領域の高度な手術の増加が期待できます。

高度化・低侵襲化を備えたハイブリッド手術室は、心臓・脳領域のみならず幅広い領域での手術支援が期待でき、また既存の第二病棟の手術室10室に今回の2室が加わることで、手術件数の増加も見込まれます。



## 臨床倫理問題への対応が始まりました

臨床倫理コンサルテーションチーム 代表 松村 敬久 (病態情報診断学講座教授)

**「終** 末期の患者さんの方針をめぐって、現場で意見が合わなくて困っている」、こんな経験をされたことはありませんか。臨床現場では日々、さまざまな倫理的な問題が発生しています。そして患者さんやご家族の間、医療チームの中でも意見がまとまらないことも少なくありません。

そこで本院では臨床倫理指針に基づき、病院職員が提供しようとしている治療やケア等が患者さんにとって不利益となったり人間としての尊厳を侵害するものにならないように検討し、その結果をもとに病院職員に助言を行うことで医療の質を改善することを目的に、今年10月に臨床倫理委員会が充足しました。委員会では院内における終末期医療や救急救命に関するガイドライン作成や臨床倫理問題に関する相談対応、臨床倫理に関する研修企画などを行います。



そして臨床倫理問題に関する相談に迅速に対応する専門チームとして臨床倫理コンサルテーションチームを立ち上げました。このチームは医師、看護師、事務職員から構成され、全ての医療職員からの相談を受け付けています。臨床現場で「この治療、ケアは患者さんにとって本当に最善の方法か?」「医療者としてどのように判断したら良いのか?」など倫理問題に直面したら、個人や医療チームだけで悩まず、まずは臨床倫理コンサルテーションチーム(専用PHS 32115(医事課担当者))にご連絡ください(詳しくはIMISポータル:申請書類“臨床倫理コンサルテーション”を参照)。

臨床倫理問題に「正解」はありません。患者さんにとって最善の方法は何か、相談者と倫理コンサルテーションチームで情報共有しながら、ともに考えていきます。お気軽にご相談ください。

臨床倫理問題に「正解」はありません。患者さんにとって最善の方法は何か、相談者と倫理コンサルテーションチームで情報共有しながら、ともに考えていきます。お気軽にご相談ください。

## 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」に名称が変わりました!

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療科長 兵頭 政光

**今** 年10月より、本院において「耳鼻咽喉科」は「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」に標榜名を変更しました。「頭頸部外科」という名称には馴染みが薄いかもかもしれませんが、全国の大学病院や地域の基幹病院においては「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」を標榜する医療機関が増えつつあります。四国の他の3つの大学病院でも、既に「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」を掲げています。

耳鼻咽喉科の診療範囲は幅広く、耳(中耳炎やめまいなど)・鼻(副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎など)・咽頭(扁桃炎など)・喉頭(声帯ポリープや反回神経麻痺など)の病気が一般的ですが、これらに加えて頭頸部に発生する腫瘍も代表的な病気です。「頭頸部」とは脳・眼・歯を除く頸から上のすべての臓器、器官を指します。すなわち、鼻・副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、唾液腺、甲状腺などに発生するすべての良性腫瘍および悪性腫瘍(がん)が対象になります。また、頸部のリンパ節炎やリンパ腫、嚢胞なども含まれます。

頭頸部は解剖が複雑で呼吸・発声・嚥下など人が生きてゆく上で重要な機能を担っていますので、特に悪性腫瘍の診断や治療には専門的な知識と経験が必要です。頭頸部腫瘍の治療においては手術が重要な役割を担いますので、それを専門的に行う診療科や医師をそれぞれ「頭頸部外科」、「頭頸部外科医」と呼称しています。

大学病院を含む多くの基幹病院では頭頸部腫瘍の患者さんの診療に力を入れています。本院でも耳鼻咽喉科の入院患者さんの半数以上は頭頸部腫瘍の患者さんで、手術はもちろん、放射線治療や化学療法も含めた集学的治療を多くの患者さんに行っています。また、腫瘍の根治はもとより、発声や嚥下などの機能温存や治療後の機能回復も考えながら治療を行っています。今後も「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」として、頭頸部腫瘍に対する高度かつ最新の医療を提供したいと考えていますので、よろしくお願ひします。

# 初期臨床研修医紹介 医科 Part 2



- ①氏名 \_\_\_\_\_
- ②出身地 \_\_\_\_\_
- ③趣味・特技 \_\_\_\_\_
- ④将来の進路や関心のある分野 \_\_\_\_\_
- ⑤高知大学医学部附属病院での研修で「ここがいい!」と思えるところ \_\_\_\_\_
- ⑥今後の抱負を一言 \_\_\_\_\_

今年も、元気のいい研修医たちが集まりました。高知を気に入って高知での研修を希望した若手です。学生時代にそのきっかけを与えて下さった高知大学医学部附属病院および関連病院の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。それぞれのプロフィールを紹介しましょう。すでに進む道を決めている者もあれば、新たな領域に興味が生えてくる者もあると思います。引き続き、皆さまからの温かいご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

医療人育成支援センター長 渡橋 和政



- ①竹内 雅音(たけうち まさと)
- ②高知県南国市
- ③釣り
- ④麻酔科、救急
- ⑤勉強する時間が取りやすい。
- ⑥がんばります。



- ①中島 勇魚(なかじま いさな)
- ②高知県高知市
- ③テニス
- ④ —
- ⑤先生方の指導が手厚いところ
- ⑥よりよい医師になれるように、日々精進していきたいです。



- ①原田 奈々世(はらだ ななせ)
- ②高知県高知市
- ③歌をうたうこと
- ④外科系、産婦人科
- ⑤たくさんの先生方が色々なことを手取り足取り教えてくださるところ。指導がとても丁寧。学生さんもたくさんいるので、自分自身も初心を忘れず、日々の研修がより刺激的なものになります。

⑥日々全力で患者さんと向き合っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



- ①前 壮一郎(まえ そういちろう)
- ②佐賀県佐賀市
- ③自転車、楽器、登山
- ④ —
- ⑤各科の指導熱心な先生方が、お忙しい中毎日色々な事を教えてくださる、そういう空気ができているところ。
- ⑥患者さんのことを第一に考えて、日々勉強していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



- ①松村 彰文(まつむら あきふみ)
- ②高知県高知市 ③野球観戦、水泳 ④内科を考えています
- ⑤同期も先生方も知っている方が多いので、安心して取り組みます。知らないことを知らないと言える環境がいいと思えます。
- ⑥できることを一つでも増やしていきたいです。患者さんはもちろん、一緒に働く人々からも信頼してもらえるように頑張りたいです。



# 初期臨床研修医紹介 医科 Part 2



- ①氏名 \_\_\_\_\_
- ②出身地 \_\_\_\_\_
- ③趣味・特技 \_\_\_\_\_
- ④将来の進路や関心のある分野 \_\_\_\_\_
- ⑤高知大学医学部附属病院での研修で「ここがいい」と思えるところ \_\_\_\_\_
- ⑥今後の抱負を一言 \_\_\_\_\_



- ①村松 脩大(むらまつ しゅうだい)
- ②高知市生まれ(東京で育ちました)
- ③物真似
- ④形成外科と整形外科に興味があります。骨、筋肉、靭帯、皮膚が好きです。
- ⑤プロフェッショナル集団であるところ。
- ⑥まだまだ仕事に慣れませんが、上の先生方のような素早く正確な業務を目指して頑張ります。ご指導よろしくお願いします。



- ①山本 朋佳(やまもと ともか)
- ②東京都
- ③バドミントン
- ④—
- ⑤チーム医療、色々な科の先生とお知り合いになれること。
- ⑥基礎的なことからしっかり学んでいきたいです。

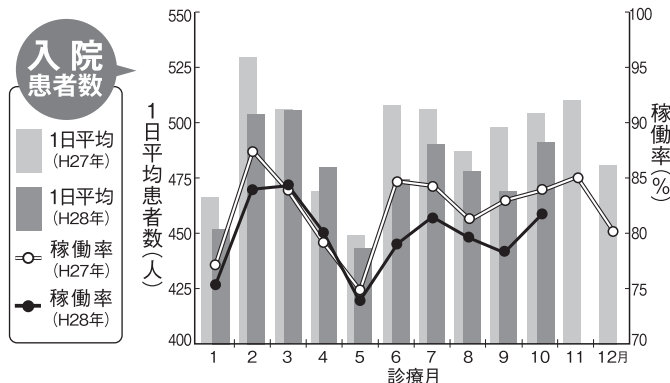
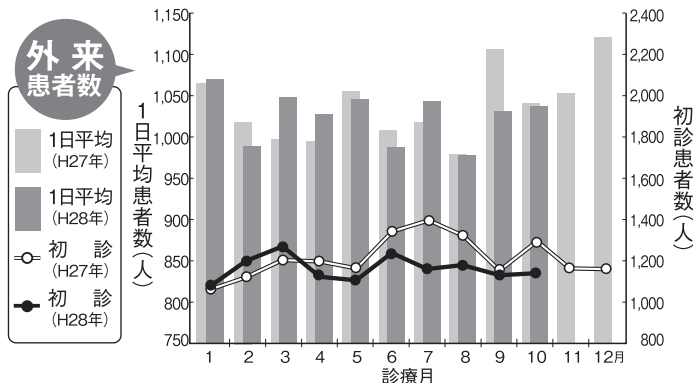


- ①横山 卓司(よこやま たくじ)
- ②福岡県福岡市
- ③テニス、ピアノ、ギター
- ④形成外科
- ⑤自由に研修科を選べるところ
- ⑥まだまだ右も左も分かりませんが、一人前の医師になれるよう精一杯頑張りたいと思います。



- ①植村 夏実(うえむら なつみ)
- ②高知県四万十町
- ③ドライブ
- ④—
- ⑤見慣れた施設、見慣れた先生
- ⑥動ける研修医になりたいです。

## 診療状況



## 編集後記

今年度より病院ニュース編集委員を務めております歯科口腔外科の北村です。これまで本ニュースをパラパラとめくって、興味ある内容だけを流し読みしていた私ですが、これからは皆さんにパラパラとめくられるだけにならないようなニュースにするよう努力したいと思います。

さて今回は、本院のハイブリッド手術室に関する工事の進捗状況について施設管理室より情報提供がありました。さらに、臨床倫理コンサルテーションチームが設立されたことや耳鼻咽喉科が耳鼻咽喉科・

頭頸部外科に科名変更した話題を掲載致しました。加えて前号に引き続き、今年度本院にて研修を開始した研修医の方に自己紹介をしてもらいました。

季節柄、クリスマス・忘年会・お正月とアルコールを口にする楽しい機会が目白押しですが、くれぐれも飲酒運転等の社会規範に反した行動がないことを願うとともに、来年も活発な「高知大学 病院ニュース」を作って参りますので、誌面で紹介したい内容があればお気軽に御連絡下さい。(文責:北村 直也)